

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 6/28 第10号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

第2回トークイン双ヶ丘

6月28日（木）に第2回の「トークイン双ヶ丘」を実施しました。今回のテーマは、1年生と2年生は「校外学習を終えて」、3年生「修学旅行を終えて」です。代表生徒の発表の一部を紹介します。

1年生 女子

「協力って簡単に聞こえる言葉かもしれないけど、それには色々な意味があると思う。すごくすごく大切な言葉なのだ。……もっともっと1年3組と楽しくすごしていきたい。そう思わせてくれた最高の校外学習だった。」

※協力の大切さを再発見しました。さまざまな場面で協力できるクラスは、素敵です。

1年生 男子

「ぼくは、みんなから助けられているから、ぼくもみんなの役に立たないといけないと思いました。だから、ぼくは、だんだんと変わっていこうと思います。」

※自分を変えることは意外にむずかしいことです。しかし、自分を変えることで視野が広がりますよ。

2年生 女子

「『一生懸命がんばること』は、すごく大事な事だなと思いました。また、自分の仕事にほこりを持っている人は、とてもかっこよく、すごい事なんだなあとと思いました。」

※自分自身のほこりをもつ、自信をもつことは大切です。そのためには妥協することなく努力を続ける必要がありますね。

2年生 女子

「自分の意見をもつことは大切ですが、他の人の意見が「良いな」と思ったら、賛成することも大切だし、みんなが自分の考えを通そうとするよりも、みんながまとまれると思います。」

※どうしても自分の意見を通そうとしがちですが、他者の意見を参考にすることで自分の意見を見直すきっかけにできます。他者の意見を参考にするためには、「心のゆとり」が必要です。

3年生 女子

「今までの私は、分からないことがあるとすぐ人に頼ってしまうことがあった。1泊という短い間だったが、自立することの大切さ、そして何でも人に頼らないことも大切だということを民泊の方から学んだ。」

※自立することの大切さを教えてもらった民泊の方に感謝ですね。家族の一員として受け入れていただいたお陰ですね。

3年生 女子

「原爆はたくさんの人の命を奪ったこと。そんなことはもう二度とあってはならないと思う。この世界に人の命より大切なものは何一つない。私は、そう感じた。……私は、その与えられた1日1日を大切にして意味あるものにしていきたい。」

※修学旅行で平和の大切さ、命の大切さを再認識しました。これからも平和について考えてほしいです。